



法学部玄関前

## 挑戦を、そして感激を

法学部長 山本敬三

新入生の皆さん、法学部への入学おめでとう。受験生活から解放され、大きな希望をもってこれから始まる大学生活のプランを考えていることだろう。ウィルヘルム・フォン・フンボルトは、「学校とは、できあがった解決ずみの知識を扱うところであり、大学は学問というものをまだ解決されていない問題として扱うところである」と述べている。君たち

はこれから〈学問〉をすることができる。受験のときの〈勉強〉のように強制されたものたちがい、それは単なる知識ではなく、旺盛な知的好奇心であり、自分の意志によって創り出すものである。それゆえ、学問の途は楽しくもあるが厳しいものでもある。この難関を乗り越えればそこには感激が待っている。法学部に入った君たちは、法を中心に社会科学を学ぶことになる。世界は正に激動の中にある。今日ほど社会科学の知識の必要性、重要性を強く感じる時代はない。社会科学の探究には何よりも人間性が要求される。日本のそして世界の人類が人間らしい生活を持つことのできるあたたかい社会を創り出すために共に学ぼうではないか。

大学生活はあつという間に過ぎる。かけがえのない青春を大切にしよう。若いという特権をいかしてあらゆる可能性を求めトライしてみよう。苦難のあとに何かを得た時の感激はすばらしい。私の好きな言葉「感激なき人生は空虚なり」を贈りたい。君たちの御健闘を祈る。

## 新入生の皆さんへ

法学部4学年

池崎 寿美子

新入生の皆さん、御入学おめでとう。厳しい受験戦争をくぐり抜け、無事広島大学へ入学された皆さんの門出を心からお祝い申し上げます。

さて皆さんはこれから大学生としての新しい道を行かれるわけだが、入学当初にまず、自分の目標を立てていただきたい。よく言われるように、大学生になるとこれまでよりも自由な時間が大幅に増える。この時間を無駄にせず、勉強・クラブ・習い事・趣味などに有効に使い、将来の目標やその他の目標に向かって頑張っていたきたい。

長いようで短い大学生活の四年間を、自分を磨くため、より知識を深めるために有意義に使えるよう、努力してみたいかがだろうか。最後に皆さんが自分の置かれてある立場を十分把握され、健康で過ごして行かれるよう、お祈りしている。